

ぜったいに許さない！ 携帯・ネット上でのいじめ

そんなひどいことするの？ いじめは最低！



仲間はずし



いやがらせ画像



悪口の書き込み

●ネットで、仲間はずれや悪口を書くとなにが起こるのか…考えたことある？

それほど悪気がなくても、人の悪口は書かれた人にとっては想像以上にづらいもの。たくさんの人が見るネットに、人を傷つけるような書き込みをするとどんなことがおこるか考えたことがある？ いじめられた人は学校に来られなくなったり、死んでしまいたくなるほど辛い思いをする。実際に命を落としてしまった人もいます。書きこんだほうもネットで身元を調べられて責任を追求されることもあります。そんなことにならないように、書き込む前の確認を忘れないで。

●人を傷つけるようなことを決してネットに書きこんではいけない！

自分が書いたことがばれないと思っていても意外と簡単に個人は特定される。匿名（とくめい）で書き込みをした場合でも、通信記録が残っているから警察が調べればすぐに分かるんだ！



●いじめに気がついたら、先生やまわりの大人に相談しよう。

ネットで見ることができない、通話アプリの場合は、その画面のコピー（スクリーンショット）を残しておいて相談する際に見せるという方法がある。いじめに気付いても知らんふり…は許されない！大変なことになる前にまわりの大人に相談しよう！

【事件例】中学生の少女4人（14～17歳）が無料通話アプリで知り合った女子中学生に暴行を加えたとして、傷害容疑で逮捕。「被害者がアプリでの連絡を絶ったり、態度が悪かったりしたことに腹が立った」などと供述。

出典：「ちょっと待ってケータイ&スマホ 2014年版」文部科学省

〔コミュニケーション上の注意〕

メールは少ない文字量で意思を伝え合うため、対面のコミュニケーション以上に相手を不快にさせたり誤解を与える表現をしないよう充分に気をつける。

メールやサイト閲覧を通して発信した情報は文字として記録に残ること、サイトでは多くの他の人も閲覧することなどを理解し、他人が誹謗中傷だと感じるような内容を書かないように充分に気をつける。

友だち同士で、ネット利用時のルールづくりをしてみよう！

- ・人が嫌がることや悪口を書かない
- ・気になることがあったら直接本人に聞く
- ・友だちの勉強や睡眠などをじゃましない（夜〇時以降はメールしない）
- ・友だちの写真を載せるときは許可をもらう
- ・自分の写真を送る時には何に使うか相手に確認する など

（出典：携帯・ネット上のいじめ等への対処方法プログラム
大阪府教育委員会 平成 25 年 3 月）